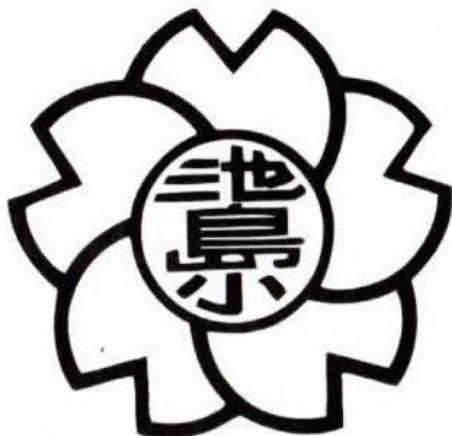


令和 5 年度

運営に関する計画



大 阪 市 立 池 島 小 学 校

大阪市立池島小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校地域は 2 か所の児童養護施設と付随する 2 か所の小規模施設を有し、虐待を含む様々な社会的養護を必要とする子どもが約 40% 在籍している。その多くの子どもは愛着障がい（AD）の傾向をしめしており、重複して ASD（自閉スペクトラム症）や LD（学力不振）等の発達症をあわせ持っている。本来形成されるべき特定の人との愛着がうまく形成されず、感情の未発達・未学習を引き起こし、絆の問題を抱えることとなった子どもに対し、入学後に愛着形成を行う必要がある。これは施設の子どもに限られた問題ではなく、一般家庭でも見られる状態である。さらに、特別支援学級在籍割合は 36% であり、個々の子どもに対する手厚い支援が必要である。こうした状況の子どもの自尊感情を高め、自己と共に他者を大切にする心すなわち自己有用感を育てることは、本校にとって喫緊の課題である。

本校の地域は、児童養護施設の子どもに対する理解は深く、地域の子どもとして大切に育てている。施設側も地域と共に子どもを育てるという立場で子どもの育てに関わっている。

第 1 期、第 2 期大阪市教育振興基本計画のもと本校では、多くの成果をあげてきた。

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】においては下記である。

- いじめの解消率 100% を維持。
- 「学校は仲間がいて、いじめをゆるさない安心できる場所だと思う。」に対する肯定的な回答の割合は、80% を上回った。
- 「学校のきまり・規則を守っていますか」に対する肯定的な回答の割合は、90% を上回った。
- 自尊感情や自己有用感に関しては、「自分には 1 つ以上よいところがある。」に対する肯定的な回答の割合は 80% を上回った。「誰かの役に立つ人になりたい（高学年）」と回答する児童の割合は、90% を上回った。
- 不登校の子どもが毎年 1 名以上出ており、登校できるようになってはいない。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】においては下記である。

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較した時、3, 4, 6 年生は向上しているが、3 年連続で 5 年生が低下傾向にある。（令和 3 年度 3 年生 91.7 4 年生 99.0 5 年生 96.5 6 年生 97.0）
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対する肯定的な割合は前年度より増加し、79.6%
- 「すすんで漢字学習に取り組んだ」に対する肯定的な割合は 85%、漢字検定合格率は 75.3%
- 令和 3 年度全国学力・学習状況調査では、国語、算数ともに平均正答率は大阪市を 6～7 ポイント下回っている。
- 令和 3 年度全国体力運動能力、運動習慣等調査の結果、体力合計点は、男子は大阪市平均を上回り、全国平均はやや下回った。女子は大阪市平均とほぼ等しく、全国平均を下回る結果となつた。

こうした現状と成果を踏まえ、新たな教育の方向性を導くために、第3期大阪市教育振興基本計画の3つの最重要項目から今後4年間取り組む課題を整理する。

安心安全な教育の推進

- 子どもと教員との愛着形成を図る。

本校の子どもにとって教員との愛着の形成は不可欠である。特に、学級担任、支援学級担当との愛着の形成を図り、感情の学習や他者との関係性づくりを進める。

- 自尊感情の向上を保障する。

学校のきまりを守る、自分の可能性に気づく、仲間と共に活躍する場を得る、自己の成長を感じる、他者から必要とされる、成功体験を繰り返す等の自尊感情を高める学校生活を保障する。

- 自他の命を守る力を育成する。

子どもの道徳性、社会性の育成に努め、自他の命を尊重し安全で安心な社会づくりに参加するための資質・能力を育てる。

未来を切り拓く学力・体力の向上

- 学習の基盤となる資質・能力を育成する。

すべての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となる言語能力を支える重要な要素である語彙を豊かにする。(読書、漢字)

- 授業の質的転換を図り授業力を向上する。

個別最適な学び（「個に応じた指導」（指導の個別化と学習の個性化）を学習者の視点から整理した概念）の一層の充実を図る。そのため、主体的・対話的で深い学びを実現する。同時に、探求的な学習や体験活動等を通じ、協働的な学びを実現する。

- 外国語活動、外国語科の授業の充実を図る。

C-NET、外部講師と外国語担当教員、担任との連携の強化を進める。「小学校低学年からの英語教育の時間」の確実な実践を積み重ねる。

- 自己の体力に関する理解を進め、主体的に運動する習慣を付ける。

体育科授業の実践記録の積み重ね、運動環境の充実、全校体力作りへの取組を行う。

学びを支える学習環境の充実

- 学習者用端末を使用した学習の日常化を図る。

協働学習支援ツールや学習用デジタルドリルの活用を一層充実させる。また、プログラミング学習年間指導計画に則った実践を積み重ねる。自己の体力に関する理解を進め、主体的に運動する習慣を付ける

- 「学校園における働き方改革推進プラン」に基づいた働きやすい職場環境を整える。

- 長時間勤務の解消、年次有給休暇の取得率の向上を図る。

- 読書環境を整え、読書活動を推進することによって、本好きな子どもを育てる。

前述の課題を受けて、令和7年度末までに達成する中期目標を下記の通りとする。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度末の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
73.5	中止	73.9	67			

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
0.71	1.60	1.80	0.99			

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を令和3年度(60.9%)より20%増加させる。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
70.6	中止	60.9	86.9			

○令和7年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
77.3	94.1	90.9	85.9			

○令和7年度の校内調査の「災害や防災について、自分にも起こりうる事と考えて行動できた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
斜線	斜線	斜線	90			

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
34.4	36.7	42.6	27.2			

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より向上し1.00以上にする。

	国語				算数			
	R1	R2	R3	R4	R1	R2	R3	R4
現6年生	0.85	0.86	0.89	0.90	0.95	0.92	0.77	0.73
現5年生		0.95	0.88	0.93		0.96	0.90	0.89
現4年生			0.77	0.81			0.73	0.68
現3年生				0.72				0.74

○令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
63.0	64.2	67.8	68.4			

○令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
79.7	中止	79.5	86.0			

○規則正しい生活を身に付けている児童の割合（令和7年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を70%、80%以上にする。

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
寝ている	67.6	中止	60.9	65.2			
起きている	85.3	中止	78.3	82.6			

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度の校内調査の、「授業の中で学習者用端末を活用して学習している」の項目（協働学習支援ツール、デジタルドリルを含む）について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、80%以上にする。

R4	R5	R6	R7
93			

○令和7年度の校内調査の、「学習者用端末を活用して発表することができますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

R4	R5	R6	R7
86			

○令和7年度の校内調査の、「プログラミング学習は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

R4	R5	R6	R7
75			

○令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

R4	R5	R6	R7
72.1			

○令和7年度の保護者アンケートの「お子様との会話や学校からの手紙、連絡等で学校でのお子様の様子がよくわかりますか」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、90%以上にする。

R4	R5	R6	R7
95			

○ゆとりの日を毎週1回以上設定する。

○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を100%にする。

(基準2とは、時間外勤務が年間720時間以下、月45時間を超える月数6月以下、月100時間を超える月数0、前2~6か月の平均が80時間を超える月数0)

2 中期目標の達成に向けた令和5年度目標

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を75%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
73.5	中止	73.9	67	

○令和5年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

R1	R2	R3	R4	R5
0.71	1.60	0.88	0.99	

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

○小学校学力経年調査及び年度末の校内調査の「学校に行くのは楽しいですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合をいずれも80%以上にする。

	R1	R2	R3	R4	R5
経年	79.4	82.8	73.7	72.0	
校内	77.3	85.7	85.5	86.0	

○年度末の校内調査において、「自分には1つ以上よいところがある。」と肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
68	83	79	82	

○令和5年度の小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
70.6	中止	60.9	86.9	

○年度末の校内調査において、「いじめは絶対に許されないだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を70%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
45	47	58	77	

○年度末の校内調査において、「学校や学級のきまり（約束）を守っていますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 60%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
53	64	58	58	

○令和 5 年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
77.3	94.1	90.9	85.9	

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
34.4	36.7	42.6	27.2	

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より 0.05 ポイント向上させる。

	国語					算数				
	R1	R2	R3	R4		R1	R2	R3	R4	
現 6 年生	0.85	0.86	0.89	0.90		0.95	0.92	0.77	0.73	
現 5 年生		0.95	0.88	0.93			0.96	0.90	0.89	
現 4 年生			0.77	0.81				0.73	0.68	
現 3 年生				0.72					0.74	

○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
63.0	64.2	67.8	68.4	

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
79.7	中止	79.5	86.0	

○規則正しい生活を身に付けている児童の割合（令和5年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を65%、75%以上にする。

	R1	R2	R3	R4	R5
寝ている	67.6	中止	60.9	65.2	
起きている	85.3	中止	78.3	82.6	

学校園の年度目標

○年度末の校内調査において、「漢字の学習をがんばった」と回答する児童の割合を85%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
82	91	85	88	

○年度末の校内調査において、「算数の文章問題をがんばった」と回答する児童を80%以上にする。問題解決型の授業改善、池島タイムの運用を工夫する。

R1	R2	R3	R4	R5
△△△	△△△	△△△	90	

○年度末の校内調査において、「授業は工夫されていて、わかりやすい」と回答する児童の割合を85%以上にする

R1	R2	R3	R4	R5
82	95	89	92	

○年度末の校内調査において、「いろいろな教科などで、自分で考えたことを文章に表す活動をがんばりましたか」と回答する児童の割合を85%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
74	90	88	87	

○年度末の校内調査において、「いろいろな運動に挑戦した」と回答する児童の割合を85%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
△	83	86	89	

○規則正しい生活を身に付けている児童の割合（令和5年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を65%、80%以上にする。

	R1	R2	R3	R4	R5
寝ている	67.6	中止	60.9	65.2	
起きている	85.3	中止	78.3	82.6	

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

○年度末の校内調査の、「授業の中で、学習者用端末を活用して学習している。」の項目（協働学習支援ツール、デジタルドリルを含む）について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、80%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
△	△	△	93	

○ゆとりの日を毎週1回以上設定する。

○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を100%にする。

（基準2とは、時間外勤務が年間720時間以下、月45時間を超える月数6ヶ月以下、月100時間を超える月数0、前2～6か月の平均が80時間を超える月数0）

	4月	5月	6月	7/8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
基準1										
基準2										

学校園の年度目標

○年度末の校内調査の、「あなたは、学習者用端末を活用して発表できましたか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
△	△	△	86	

○年度末の校内調査の、「プログラミング学習は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
			75	

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
82	72	76	72. I	

○年度末の保護者アンケートの「学校は保護者や地域の方に学校での子どもたちの様子を十分に伝えていると思われますか。」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、90%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
			95	

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立池島小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標					達成状況
【安全・安心な教育の推進】					
全市共通目標（小・中学校）					
R1	R2	R3	R4	R5	
73.5	中止	73.9	67		
○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を75%以上にする。					
R1	R2	R3	R4	R4	
0.71	1.60	0.88	0.99		
○令和5年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。					
○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。					
学校園の年度目標					
○小学校学力経年調査及び年度末の校内調査の「学校に行くのは楽しいですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合をいずれも80%以上にする。					
R1	R2	R3	R4	R5	
経年	79.4	82.8	73.7	72.0	
校内	77.3	85.7	85.5	86.0	
○年度末の校内調査において、「自分には1つ以上よいところがある。」と肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。					
R1	R2	R3	R4	R5	
68	83	79	82		
○令和5年度の小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。					
R1	R2	R3	R4	R5	
70.6	中止	60.9	86.9		

○年度末の校内調査において、「いじめは絶対に許されないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 70%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
45	47	58	77	

○年度末の校内調査において、「学校や学級のきまり（約束）を守っていますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 60%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
53	64	58	58	

○令和 5 年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、

肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
77.3	94.1	90.9	85.9	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【1－1　いじめへの対応】 <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめについて考える日」を設定し、全校朝会での指導・各学級での指導を行う。 ○各学年、いじめに関する道徳教材に年に 1 度以上取り組む。 ○委員会活動等でいじめを許さないことを啓発するポスターを作ったり、呼びかけたりする活動を行う。 ○「チャイムの合図を守る」「廊下階段右側歩行」などの学校のきまりに基づく強調週間を年に 2 回設定する。 ○月始めの全校朝会において、生活指導上改善すべき事案を児童に指導する。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ○本校実施のアンケート調査における「いじめは絶対に許されないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を <u>75%以上</u>にする。 ○本校実施のアンケート調査における「学校や学級のきまりをまもっている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>90%以上</u>にする。 	

取組内容②【2－3 人権を尊重する教育の推進】

- 学年に応じて、各学級で児童が友だちの良いところや感謝の気持ちを伝え合うなど、互いを認め合う取り組みを行う。
- 人権学習や特別の教科道徳で扱う福祉の学習を行い、困っている人や助けを必要としている人の存在を児童が気付けるようにし、自分たちにできることを考えられるようにする。

指標

- 本校実施のアンケート調査における「自分には1つ以上よいところがある。」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。
- 福祉学習と人権教育の二つを各学年、年1回以上行う。

取組内容③【2－3 人権を尊重する教育の推進】

- 児童会が中心となって、たてわり班を生かす集会やいけっこまつりを行うことで、児童が他学年と交流、活動し、仲間づくりをすすめる。

指標

- 本校実施のアンケート調査における「学校に行くのは楽しいですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

様式2)

大阪市立池島小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかつた	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた
---	--

年度目標					達成状況					
全市共通目標（小・中学校）										
○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。										
RI	R2	R3	R4	R5	RI	R2	R3	R4	R5	
34.4	36.7	42.6	27.2							
○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。										
	国語					算数				
	RI	R2	R3	R4		RI	R2	R3	R4	
現6年生	0.85	0.86	0.89	0.90		0.95	0.92	0.77	0.73	
現5年生		0.95	0.88	0.93			0.96	0.90	0.89	
現4年生			0.77	0.81				0.73	0.68	
現3年生				0.72					0.74	
○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。										
RI	R2	R3	R4	R5	RI	R2	R3	R4	R5	
63.0	64.2	67.8	68.4							
○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。										
RI	R2	R3	R4	R5	RI	R2	R3	R4	R5	
79.7	中止	79.5	86.0							

○規則正しい生活を身に付けている児童の割合（令和5年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を65%、75%以上にする。

	R1	R2	R3	R4	R5
寝ている	67.6	中止	60.9	65.2	
起きている	85.3	中止	78.3	82.6	

学校園の年度目標

○年度末の校内調査において、「漢字の学習をがんばった」と回答する児童の割合を85%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
82	91	85	88	

○年度末の校内調査において、「算数の文章問題をがんばった」と回答する児童を80%以上にする。問題解決型の授業改善、池島タイムの運用を工夫する。

R1	R2	R3	R4	R5
△△△	△△△	△△△	90	

○年度末の校内調査において、「授業は工夫されていて、わかりやすい」と回答する児童の割合を85%以上にする

R1	R2	R3	R4	R5
82	95	89	92	

○年度末の校内調査において、「いろいろな教科などで、自分で考えたことを文章に表す活動をがんばりましたか」と回答する児童の割合を85%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
74	90	88	87	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【4－1 言語活動・理数教育の充実（思考力・判断力・表現力等の育成）】 <ul style="list-style-type: none"> ○言語力育成のための基礎となる読書や漢字練習をする朝学習の時間を設定する。 ○学習活動全般を通して、分かったことや自分の考えを文章にまとめる機会を多く設定する。 ○児童が意欲的に漢字検定を受検できるように指導の工夫や言語環境の整備を図る。（漢字検定用のドリルの配付や、模試の実施、ポスターの掲示など） 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ○年度末の校内調査において、「漢字の学習をがんばった」と回答する児童の割合を85%以上にする。 ○年度末の校内調査において、「いろいろな教科などで、自分で考えたことを文章に表す活動をがんばった」と回答する児童の割合を85%以上にする。 	
取組内容②【4－2 「主体的・対話的で深い学び」の推進（各学校の実態に応じた個別支援の充実）】 <ul style="list-style-type: none"> ○問題解決型学習を意識した指導に取り組む。 ○全学年に話し合いの話型を掲示し、6年間を通じた意見交流の指導に取り組む。 ○主に算数科において、個に応じた指導を工夫し取り組む。 ○池島タイムを実施し、児童の基礎学力の定着を図る。 ○授業用パソコンや一人一台端末を活用し、工夫した授業づくりに取り組む。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ○年度末の校内調査において、「算数の文章問題をがんばりましたか」と肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ○年度末の校内調査において、「授業は、工夫されていてわかりやすい」と回答する児童の割合を85%以上にする。 ○個に応じた指導や池島タイムに取り組み、児童の基礎学力の定着を図る。 	
取組内容③【5－1 体力・運動能力向上のための取組の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣を児童が身につけられるよう、教職員や委員会児童による呼びかけを行う。 ○体育授業を充実させるために、学年ごとに授業づくり・場づくりを記録する。 ○「なわとび月間」や「かけ足月間」を設定し、全校児童が運動に取り組む機会を設ける。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣が身についたか、年2回実態調査し、分析した結果を全教職員に周知する。また、実態調査で「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。」「毎日同じくらいの時刻に起きていますか。」それぞれに対して肯定的な回答をする児童の割合を65%、75%以上にする。 ○年度末の校内調査において、「いろいろな運動に挑戦した」と回答する割合を85%以上にする。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式2)

大阪市立池島小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかつた	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

年度目標					達成状況
【学びを支える教育環境の充実】					
全市共通目標（小・中学校）					
○年度末の校内調査の、「授業の中で、学習者用端末を活用して学習している。」の項目（協働学習支援ツール、デジタルドリルを含む）について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、70%以上にする。					
RI	R2	R3	R4	R5	
			93		
○ゆとりの日を毎週1回以上設定する。					
○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を100%にする。 (基準2とは、時間外勤務が年間720時間以下、月45時間を超える月数6月以下、月100時間を超える月数0、前2~6か月の平均が80時間を超える月数0)					
4月	5月	6月	7/8月	9月	10月
11月	12月	1月	2月		
基準1					
基準2					
学校園の年度目標					
○年度末の校内調査の、「あなたは、学習者用端末を活用して発表できましたか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を <u>75%以上</u> にする。					
RI	R2	R3	R4	R5	
			86		
○年度末の校内調査の、「プログラミング学習は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を <u>70%以上</u> にする。					
RI	R2	R3	R4	R5	
			75		

- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
82	72	76	72.1	

- 年度末の保護者アンケートの「学校は保護者や地域の方に学校での子どもたちの様子を十分に伝えていると思われますか。」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、90%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5
△△△△△	△△△△△	△△△△△	95	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【6－1 ICTを活用した教育の推進】 ○タブレット端末・一人一台学習者用端末を活用して、年に1つ以上スライドやカードを作成する活動をする。 ○プログラミング学習年間指導計画に沿って、各学年プログラミング学習を行う。	
指標 ○年度末の校内調査における「授業の中で学習者用端末を活用して学習している。」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、70%以上にする。 ○年度末の校内調査における「学習者用端末を活用して発表することができますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 ○年度末の校内調査における「プログラミング学習は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。	
取組内容②【9－2 教育コミュニティづくりの推進】 ○学校ホームページの日々の更新や学校だよりの配付等により、学校や児童の様子を伝える。 ○地域と合同の防災訓練やPTAと学校共催の福祉体験活動、ふれあいまつり等、保護者や地域とのつながりを持てる行事に参加する。 ○港区はぐくみネットによる授業を計画、実施する。	
指標 ○年度末の保護者アンケートにおける「お子様との会話や学校からの手紙、連絡等で学校でのお子様の様子がよくわかりますか」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、90%以上にする。	
取組内容③【8－2 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組】 ○毎週火曜日に朝の読書タイムを実施する。 ○図書委員会によるおすすめの本の紹介や毎週1回の図書館開放を実施する。また、学級でも毎週1回図書室を利用したり、学級貸し出しを利用したりして本に触れる機会を多く持つことができるようとする。	

○図書の時間に図書館司書による読み聞かせを実施する。

指標

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度の改善点